

産官学民が協働してバススタンプラリー



くずは・男山のまちを再発見

バスに乗って地域の名所などを巡るイベント「バス！乗って スタンプラリー」を、3月26日、くずは・男山地域周辺で開催しました。これは、公共交通部会が、環境にやさしいバスを利用して“まち”を便利に楽しんでもらおうと作成した「くずは・男山バスタウンマップ」の完成記念イベントとして行ったものです。イベントには、多くの親子連れをはじめ約180人の市民が参加し、市民の森など地域の名所を楽しそうに巡るなど、バスを利用した休日のレジャーを楽しんでいました（2ページに関連記事）。

目次

バス！乗ってスタンプラリー	2
第1回理事会開催	3
各部会&運営委員会の活動	4
事務局紹介	6
お知らせコーナー	7
団体紹介（作人）	8

「くずは・男山バスタウンマップ」完成記念イベント

環境にやさしいバスを利用し「まち」を楽しむ

加者
マップを手にスタンプポイントを巡る参



マップを手に14か所のポイントを巡る

まず初めに、樟葉駅前の広場に参加者が集まり、ネットワーク会議のメンバーである大阪大学の松村暢彦先生が「バスは、車より環境にやさしく、車に乗れない高齢者の足となり、子どもたちが社会のルールを学ぶ場になる」と“バスとまちの話”をし、マップの使い方などを説明しました。

京阪バスや京阪宇治交通などの協力のもと行われたスタンプラリーでは、一日乗車券やタウンマップなどを手にした参加者たちが、それぞれバスに乗り込みました。

参加者は、市民の森や松花堂庭園、あらかし公

園など14か所に設けられたポイントを、バスを効率よく利用しながら巡りました。

午後3時30分からは、再び樟葉駅前広場に集合し、多くのポイントを巡った人の表彰や、スタンプの並び方を競うピンゴゲームなどで楽しみました。

「バスでまちを巡るのも意外と楽しい」との声も

参加者からは、「ふだんバスをほとんど利用しないが、バスに乗ってまちを巡るのも意外と便利で楽しい」、「車イスで始めてバスに乗った」などの声が聞かれました。

「くずは・男山バスタウンマップ」...人や環境にやさしいまちづくりを推進することをめざし、“バス”を使って、くずはや男山の“まち”を便利に楽しめるよう、市民が中心となって作る“おもしろ便利マップ”です。マップづくりでは、くずはや男山の自治会などの協力を頂き、概ね全世帯となる約2万6000世帯を対象にアンケートを実施し、897世帯の方から約2400件の意見や情報を頂きました。

バススタンプラリーで分かったこと

車からバスへの利用転換に期待

車に依存できない高齢者などの外出手段として、また車中心の社会における環境負荷低減対策として、分かりやすいまちやバスの情報を提供し、車からバスへの利用転換を促進していくことが必要です。

日頃バスを利用しない人から「バスやまちを身近に感じる事ができた」「どのバスに乗ればよいか分かった」という声が聞かれたように、

バスタウンマップを活用すれば、車からバスへの利用転換も期待できることが分かりました。

また、市民が中心に取り組んだことにより、くずは（枚方市）と男山（八幡市）という行政界を越えた自治会同士が一緒になって取り組めたことや、産官学民が協働したことも成果の一つと言えます。

「くずは・男山バスタウンマップ」は、生まれただけです。今後は、さらに地域の人々とともに、第2弾、第3弾……と親しまれるマップに育てていく予定です。

理事会

各種規則・部会設置の承認や運営委員を任命 18年度補正予算・事業計画など承認



「第1回理事会」を、3月30日に、サプリ村野の会議室で開催しました（写真上）。

事務所所在地や事務局員の採用などを承認

理事会は、午後1時5分に開会し、理事総数16名、出席者12名（本人出席10名、委任状出席2名）により、定足数を満たしていることが確認され、理事会が成立しました。

その後、議長に谷崎利男理事長を選出し、議事に入りました。議長の進行により、第1号議案「主たる事務所の所在地に関する件」、第2号議案「規

則承認の件」、第3号議案「運営委員任命の件」、第4号議案「部会設置承認の件」、第5号議案「事務局職員採用者承認の件」、第6号議案「事務局職員給与承認の件」、第7号議案「取引金融機関承認の件」、第8号議案「平成18年度補正事業計画承認の件」、第9号議案「平成18年度補正予算案承認の件」を個別に審議し、すべての案件が、原案どおり承認可決されました。

なお、議事録は、ホームページにアップしていますのでご覧ください。



理事会に出席した理事・監事

理事会で任命された運営委員

種別	氏名	担当	
委員長	石原 了		市民
委員	石川 聡子	部会担当、環境教育サポート部会	市民
	鍛冶谷 知宏	スタッフ会議担当	市民
	鎌田 徹	部会担当、公共交通部会	市民
	末岡 妙子	スタッフ会議担当	市民
	谷崎 利男	統括・行政担当	市民
	中村 正紀	部会担当、ごみ・エネルギー部会	市民
	新島 健士	部会担当、まちづくり部会	市民
	廣田 武司	スタッフ会議担当	市民
	丸井 晶子	部会担当、自然環境部会	市民
	浜津 俊介	統括・行政担当	枚方市

●各部会の活動

自然環境部会



環境保全は自然破壊？

前回の「環境ひらかた」で、サダ東小学校学校林の保全活動の取り組みの報告をさせていただきました。

12月3日に1回目の活動を行い、3月18日で6回を数えました。この間の参加人数は延べ50人にもなり、その甲斐あって随分整備されました。土砂崩れの引き金になるといわれている竹藪を整備することは環境保全活動です。

ところが整備を進めていく中で、それまで出没？していた狸が姿を見せなくなりました。「狸がいなくなったということは自然破壊では？」「環境保全といって自然破壊をしているのでは？」との指摘を受けました。皆さんはどのように考えますか？

ごみ・エネルギー部会



「食の市内循環システム」の試験的構築を目指す

ひらかた自然エネルギー学校（RESH）運営WG：第1期修了者から新たなRESH運営スタッフが加わり、今年度の準備がスタートしました。

廃食油リサイクルWG：花村産業の開発製品「代替ディーゼル燃料評価用発電システム実験装置」は、非常用電源装置として広く採用されており、この度東京国際フォーラムで1月に行われた「ベンチャーフェア-JAPAN2006」に出展し、注目を浴びました。

地域ごみ減量WG：生ごみのたい肥化、減農薬・有機野菜の栽培を核とする「食の市内循環システム」の試験的構築を目指して、調査・意見交換をしています。

雨水モニターWG：「おおさかレインボウぷるじゅくと！」の一環で活動するのに加えて、北大阪打ち水ネットにも参加し、7月の「くらわんか打ち水大作戦」に参加する予定です。

公共交通部会



牧野レンタサイクル実験報告書を枚方市に提出しました

牧野レンタサイクル実験報告書提出...3月2日、小堀副市長に提出しました。その中で、今後枚方市と協働でレンタサイクルシステムの構築について、検討を進めることを提案しました。

「くずは・男山バスタウンマップ」完成記念イベント「バス！のってスタンプラリー」を3月26日に開催しました。大人気でお申し込み者多数につき、3月16日には受付を締め切らせていただきました。当日は大盛況のうちに無事終了しました。

平成18年度は、・バスタウンマップ追加情報シートの作成、・楠葉地域交通環境ワークショップ、・レンタサイクルシステムの検討、・自転車道マップづくり、・公共交通シンポジウムなどの活動を予定しています。

まちづくり部会



ブラックイルミネーションに向けて始動

6月17日(土)のイベント『ブラックイルミネーション』に向けて、運営委員会委員、事務局関係者及びまちづくり部会有志を中心としたネットワーク会議全体でプロジェクトチームを立ち上げ検討に入っています。

イベントの内容は、エネルギー消費を減らし二酸化炭素の削減を啓発するため、ネットワーク会議が行う家庭や事業所の照明を落とす『ライトダウン』と、枚方市が行う京街道と意賀美神社参道を竹口ウソクで照らす『ひらかた灯路(あかりみち)』です。

興味のある方、何かやりたい方は奮ってご参加ください。

環境教育サポート部会



地域で環境を学ぶしくみを整える

現在、枚方市では環境教育推進指針の策定作業をしており、環境教育サポート部会からメンバーが出て、その作業に参加しています。

その中で、地域で環境について学ぶしくみを整えることの重要性が議論されました。

地域で環境を学ぶしくみを作る動きが生まれつつあるコミュニティがあり、環境教育サポート部会ではこのような動きに連携する計画です。

マップ作りなどの活動はこのようなくみの上で地域環境を学ぶためのツールとして有効だと考えています。このような活動が枚方で広がるように、ご関心がおありの方のご参加をお待ちしています。

運営委員会



3者の連絡調整に加え、業務執行機関としての役割担う

「ひらかた環境ネットワーク会議」の特定非営利活動法人(NPO法人)化に伴い、「運営委員会」は、従来の役割である市民・事業者・行政3者の連絡調整の場に加え、理事会の下で「業務執行」機関として主に下記役割を担う事になります。

理事会議決事項の事前準備及び理事会への意見具申、 理事会で議決された事業の具体的推進計画立案及び実施、 部会活動の支援及びプロジェクトチーム新設による新規事業企画・立案・推進、 その他「ひらかた環境ネットワーク会議」の事業遂行に関する重要事項についての審議及び理事会への意見具申

運営委員会としては、NPO法人「ひらかた環境ネットワーク会議」運営の透明性と情報の共有化に尽力する所存ですが、会員皆様方の絶大なご支援・ご協力をお願い致します。

4月から事務局のメンバーが新しくなりました 若さを生かしてネットワークの活動をサポート

3月31日に大阪府からのNPO法人設立の認証を受け、4月3日に登記の手続きを行いました。これで「ひらかた環境ネットワーク会議」は、今年度からNPO法人として新たなスタートを切ることになりました。

また、これまで枚方市（行政）が担ってきた事務局は、NPO法人化に伴い市民が担うことになり、4月3日から事務局長1人、職員2人（うち1人は事務局長代理）の合計3人の新しい体制による事務局がスタートしました。平均年齢35歳という若さを生かして、会員の皆さんが気持ちよく、スムーズに活動できるよう頑張りますので、よろしくお願いします。

皆さん、お時間のある時は、ぜひサブリ村野3階の事務局にお越しください。



新しい事務局のメンバー

事務局長：鍛治谷 知宏（理事）

事務局長代理：小篠 和之（職員）

事務局職員：米谷 いづみ（職員）

事務局長代理

小篠 和之（おざさ かずゆき）

自己紹介

この度、法人化に伴い職員として採用していただきました小篠です。任意団体設立当初より「環境教育サポート部会」で活動し、ひらかたの環境保全活動に私なりのやり方で取り組んできました。その活動は続けつつも、事務局として会員の皆さまが活動しやすい環境づくりに、精一杯頑張りたいと思います。

皆さん気軽に事務所へお出でになって下さい。心よりお待ちしております。

住所：枚方市

血液型：B型

星座：みずがめ座

趣味：芸術鑑賞

事務局職員

米谷 いづみ（こめたに いづみ）

自己紹介

はじめまして。これからどうぞよろしくお願いします。環境保全活動はとても幅広く様々な形があると思いますが、それに関わる方々の共通の想いを忘れることなく、一人ひとりの方との出会いを大切に頑張りたいと思います。何より深い想いを持つ方々と一緒に活動させていただけることを心から嬉しく思います。枚方が、安らぎのある居心地のよい素敵なまちになりますように。

住所：枚方市

血液型：O型

星座：おとめ座

趣味：四季を楽しむこと

イベント&募集 お知らせ コーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせは、ひらかた環境ネットワーク会議事務局までご連絡ください。
072・847・2286

NPO法人設立記念行事(仮称)を開催します

4月より「ひらかた環境ネットワーク会議」は、「特定非営利活動法人 ひらかた環境ネットワーク会議」として新たなスタートを切りました。これを記念して、会員の皆さまへのご報告を兼ねた記念行事を開催します。

日時：6月4日(日)午後1時~4時

場所：枚方市民会館1階会議室

詳細は決定次第、追ってご連絡します。

ネットワーク会議の会員を募集しています

「ひらかた環境ネットワーク会議」に参加し、活動を支える会員を、市民(個人、団体、サークル、NPO)、事業者から広く募集しています。

入会を希望される方は、電話・FAX、Eメールで、事務局まで申し込みください。

「環境のへえ～」Vol.8

『ダイヤモンドの環境負荷』

ダイヤモンドは、炭素原子が地球内部の高温高圧条件下で生成されます。宝石の中で唯一単一の元素で構成され、天然鉱物の中では最も硬く、その輝きは世界中の女性を魅了していますが...

1kgの素材を得るために、掘削・精練・加工の過程で動かす自然界の資源量(エコリユックサック)は、ダイヤモンドは突出しています。

- ・銅 420kg
- ・銀 7,500kg
- ・金 540,000kg
- ・ダイヤモンド 53,000,000kg

これは、環境に大きな負荷を与えていることを意味しています。そこで、注目されているのが合成ダイヤモンド。価格は天然ダイヤの1/5。原子的には天然と同じであり、専門家でも見分けることが困難となっています。

また、イエロー・ピンク・ブルーなどのカラー化も容易です。今後、選択肢として考えていても良いのではないのでしょうか？

<参考資料>日経エコロジー 2006.03

第8回 テクテクドンドン 国際・水辺のマーケットに出展します

日時：5月14日(日)午前10時~午後2時

場所：枚方市淀川河川敷公園 雨天中止
(京阪電車「枚方公園」駅から徒歩10分)

主催：松下電器産業労働組合
北河内連合市民懇話会

出展者以外のご来場者につきましては、駐車場に限りがありますので、ご来場は公共機関、徒歩にてお越しください。よろしくお願い致します。

「国際・水辺のマーケット」とは、ペットボトルを身近なリサイクルのシンボルとして、河川敷を上流・下流・海...世界へとつながる広域連携の交流点とみなしたりサイクルイベントです。マーケットには単なる物品の販売だけでなく、人々が集い交流する意味が込められています。世界をつなぎ、そして私たちの命をつなぐ川の辺で、環境保全について一緒に考えてみませんか。皆様お誘い合わせの上、ご来場ください。

会員数(平成18年3月31日現在):正会員201名(個人166、団体35)、賛助会員43名(個人36、団体7)

「ウチ」と「ソト」と「ココロ」がつながる活動を

間庭。シンボルツリーを配した中光と風と木の心地よい空



日頃、それらを念頭において、個々の生活スタイルを反映した家の設計をしています。漆喰や珪藻土の内壁、無垢の床板、中庭に面したLDK、最近はお施主さんからも希望されます。

そうした「家」の考えをまちへと広げれば、「枚方」は変わるはずで、ココロは、ウチからソトへ、またココロへつながる、と思います。

自然を「ウチ」に感じることで環境を考える

ひとの一生の生活の中で、おそらくもっとも長く居るだろう場所は「家」です。

しかし、家は「ウチ」であり、心の癒しとなりうる自然は「ソト」であり、生活環境と自然環境を分け隔ててしまっていることが現状です。

家に「癒し」を求めるならば、家に「ソト」を入れ、自然を「ウチ」に感じられる方法を試みることで、より自然に親しみ、より身のまわりの環境を考える機会や心が増えると考えています。

まちに「ソト」のきっかけを散りばめたい

建築設計の仕事をしている私たち「作人(さくっと)」は、自然素材を活かしたデザインや、「ソト」



と近い空間構成の家づくりを实践する延長線上に、『枚方のまちに、「ソト」のきっかけを散りばめたい』という想いがあり、当ネットワークに共感し参加しています。

編集後記

ネットワーク会議は、活動の幅をさらに広げるべく、これまでの任意団体からNPO法人となり、大きな一歩を踏み出しました。組織形態は変わりましたが「3者が協働して枚方を環境先進都市にする」というミッションは、変わることなく法人へと受け継がれます。枚方市でも今年度の市政運営方針で「市民との協働のまちづくり」がメインテーマに掲げられており、環境分野でも今後ますます協働への動きが進むものと思われます。3者協働の拠点組織であるネットワーク会議の役割もさらに増し、多彩な事業展開の可能性が広がりそうです。これからが楽しみです。(鍛冶谷記)

ひらかた環境ネットワーク会議会報「環境ひらかた」第9号

平成18年4月20日発行(年4回発行)

発行:(特活)ひらかた環境ネットワーク会議

〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5番1号

サブリ村野内(旧村野小学校)

電話 072-847-2286

FAX 072-847-2286

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyuu.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyuu.net>

発行責任者: 谷崎 利男

編集責任者: 鍛冶谷 知宏

この会報誌は古紙再生紙を使用しています。

2100

古紙再生紙100%再生紙を使用しています
白紙製は100%